

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

(1) 教職課程の質の向上に関わる組織

本学では教職課程の質の向上と運営の充実を図るため、教職課程委員会およびキャリア支援センター・教員採用試験対策室を設置しています。教職課程委員会は、教職課程および教員養成に関わるカリキュラムの改善・充実を担っています。また各学科の専門教育との連携強化や、教育実習の計画も行います。教員採用試験対策室は、教員採用試験受験者への指導の充実を通して、教員を志望する学生のキャリア支援を行います。本学ではこれら両組織を中心に学部・学科等と連携して教職課程の質向上に取り組んでいます。また 2018 年度から本学と茨城大学、常磐大学で「三大学教員養成連携協議会」を発足させ、茨城県における教員養成機能や教育に係る共同研究の連携強化を目指しています。

(2) 授業改善と学生への履修指導

本学は文学部、生活科学部、看護学部、経営学部^(注)にそれぞれ教職課程を設置しており、大学の履修要覧に教職課程のカリキュラムの詳細が記載されています。毎年、学生の授業評価アンケートを前後期それぞれで実施し、学生の目線からの評価を通して授業改善につなげています。教員免許状取得を希望する学生には、1 年次から年度当初のガイダンス期間中に資格別ガイダンスとして教職課程の履修や相談を行い、教員免許状取得の意欲を高めています。また教職課程委員会では毎年「教職課程履修の手引き」を作成し、学生のカリキュラムごとに適切な科目選択や履修条件の確認ができるようにしています。

(3) 教職履修カルテの作成

教職課程を履修する学生は「IC 教職履修カルテ」を作成・毎年更新し、教員免許状の取得に必要な科目の履修状況や、学びの課題とそれらの達成状況を記録します。毎年の学修成果や学外のボランティア等の活動、現在の課題などをポートフォリオとして積み重ねることで、自身の課題や成長を確認するとともに、大学教員が指導する際の資料とすることを目的とします。IC 教職履修カルテ作成の指導は、1 年次の学生には教職課程委員会が、2 年次以上の学生には各学科の教員が、それぞれ行います。

(4) 教員を志望する学生に対する指導の内容と方法

本学では教職課程を履修している学生と教員が身近に接することができる環境にあります。授業の中での学生の様子を見て声をかけたり、教育実習や進路実現に向けての相談に応じたりすることが日常的に行われており、様々な場面で学生の学びを支援しています。また本学は学生のキャリア支援としてキャリア支援センターに教員採用試験対策室を設置しています。教員採用試験対策室ではスタッフとの面談を通して学修成果を確認し、教員採用試験受験に向けて苦手科目や小論文作成等についても個別に指導を行っています。学科における学修や教員による指導の他に、教員の具体的な職務や教員像の理解を目的に、茨城県教育庁や茨城県教育研修センターと連携した「教員養成連携講座」を開設しています。講座では、現在の学校の状況や教員の職務やその専門性を理解するとともに、実践的な演習を通して教員に必要な最新のスキルを修得し、教員を志す自信や意欲を高めています。

注：経営学部経営学科の教職課程は 2022 年度をもって返上し、同学科の 2023 年度以降に入学した学生の教職課程は廃止となりました。